

人民元の国際化の動向

2026年3月4日

帝京大学経済学部教授

露口洋介

1. 人民元の国際化

- 2009年7月 クロスボーダー（跨境）人民元決済の開始
人民銀行「世界金融危機の影響を受け、米ドル、ユーロなどの主要な国際決済通貨の為替レートが大幅に変動し、わが国と近隣国家や地域の企業が第三国通貨を使用して貿易決済を行う場合大きな為替リスクに直面した」
- 中国の全対外受払に占める人民元建て比率は2021年：47.4%（人民元国際化報告）、2022年：49.0%、2023年：58.0%（貨幣政策執行報告）
- 中国人民銀行「2022年人民元国際化報告」 2022年9月23日公表
 - 第1章概要
 - 第2章人民元国際使用状況
 - 1. 人民元のクロスボーダー利用の総体的状況
2021年、人民元のクロスボーダー受払額合計は36.61兆元、前年比29%増加、人民元クロスボーダー受払がクロスボーダー受払全体に占める比率は47.4%。
經常取引については17.3%。

2. 2つの人民元国際化

- 2023年中の中国の対外取引全体の受払通貨に占める人民元の比率は58.0%
 1. 中国の対外取引の受払を米ドルに過度に依存していた状況から脱却させるという意味での人民元国際化は着実に進展
 2. 「国際的に広範に使用される通貨」という意味での人民元の国際化は十分に進展していない
- 資本取引、特に短期の資本取引が厳格に規制されていることが原因
- 中国の対外取引に占める人民元決済の比率を上昇させるという意味の人民元国際化にとっては資本取引規制は有用。

3. 人民元送金と外貨送金

- 対外送金、受取手続き

 - (外貨) 貨物貿易取引、サービス貿易で異なる

 - 企業はA類、B類、C類の別で管理される

 - 銀行に対する申告書類および業務証憑

 - (人民元) 経常取引一括で規定

 - 企業は通常企業と重点管理企業の2種類で管理

 - 銀行に対する申告書類または業務証憑

- 『クロスボーダー人民元政策の更なる最適化、対外貿易と外資の安定確保に関する通知』 (2021年1月) 中国人民銀行等

- QFIIとRQFII (2020年11月に統合)

 - QFII (外貨送金) : 株式への配分50%以上、かつ現金への配分20%未満

 - RQFII (人民元送金) : 上記規制なし

4. 通貨別 外国為替取引高

4月の一日平均取引高

	2010年4月		2013年4月		2016年4月		2019年4月		2022年4月		2025年4月	
	シェア	順位										
米ドル	84.9%	1	87.0%	1	87.6%	1	88.4	1	88.4	1	89.2	1
ユーロ	39.1	2	33.4	2	31.4	2	32.3	2	30.6	2	28.9	2
日本円	19.0	3	23.0	3	21.6	3	16.8	3	16.7	3	16.8	3
英ポンド	12.9	4	11.8	4	12.8	4	12.8	4	12.9	4	10.2	4
中国人民幣元	0.9	17	2.2	9	4.0	8	4.3	8	7.0	5	8.5	5
スイスフラン	6.3	6	5.2	6	4.8	7	4.9	7	5.2	8	6.4	6
オーストラリアドル	7.6	5	8.6	5	6.9	5	6.8	5	6.4	6	6.1	7
カナダドル	5.3	7	4.6	7	5.1	6	5.0	6	6.2	7	5.8	8
香港ドル	2.4	8	1.4	13	1.7	13	3.5	9	2.6	9	3.8	9
合計	200.0%		200.0%		200.0%		200.0%		200.0%		200%	
合計取引高 10億ドル	3,973		5,357		5,066		6,581		7,468		9,595	

5. 世界の公的外貨準備通貨別内訳

(単位 10億ドル、%)

	2017年末		2018年末		2020年末		2021年末		2022年末		2023年末		2024年末		2025年9月末	
		シェア		シェア												
ドル	7,175	62.7	7,089	62.1	7,556	59.5	7,671	59.4	7,006	59.0	7,263	59.0	7,215	58.52	7,414	56.92
ユーロ	2,265	19.7	2,287	20.0	2,609	20.6	2,558	19.8	2,344	19.7	2,365	19.2	2,331	18.91	2,647	20.32
円	546	4.7	581	5.1	766	6.0	710	5.5	646	5.4	670	5.4	692	5.62	757	5.82
英ポンド	542	4.7	515	4.5	604	4.8	630	4.8	599	5.0	589	4.8	566	4.60	580	4.45
人民元	140	1.2	223	2.0	294	2.3	368	2.8	303	2.6	287	2.3	254	2.06	251	1.93
カナダドル	242	2.1	210	1.8	269	2.1	314	2.4	295	2.5	309	2.5	349	2.83	346	2.66
オーストラリアドル	225	1.9	198	1.7	251	1.9	258	2.0	266	2.2	257	2.1	250	2.04	268	2.06
その他共計	11,442		11,422		12,693		12,914		11,884		12,315		12,329		13,025	

(出所) IMF

6. SDR構成比と資本取引の倍数

2022年5月14日公表、2022年8月1日実施

	米ドル	ユーロ	人民元	日本円	英ポンド
2015年11月	41.73	30.93	10.92	8.33	8.09
2022年8月	43.38	29.31	12.28	7.59	7.44

(出所) IMF

貿易額に対する為替取引高の倍率

	2007年4月	2010年4月	2013年4月	2016年4月	2019年4月	2022年4月	2025年4月
米ドル	195倍	240倍	236倍	225倍	343倍	357倍	415倍
日本円	104倍	145倍	161倍	186倍	188倍	207倍	270倍
人民元	2倍	4倍	7倍	11倍	15倍	22倍	35倍

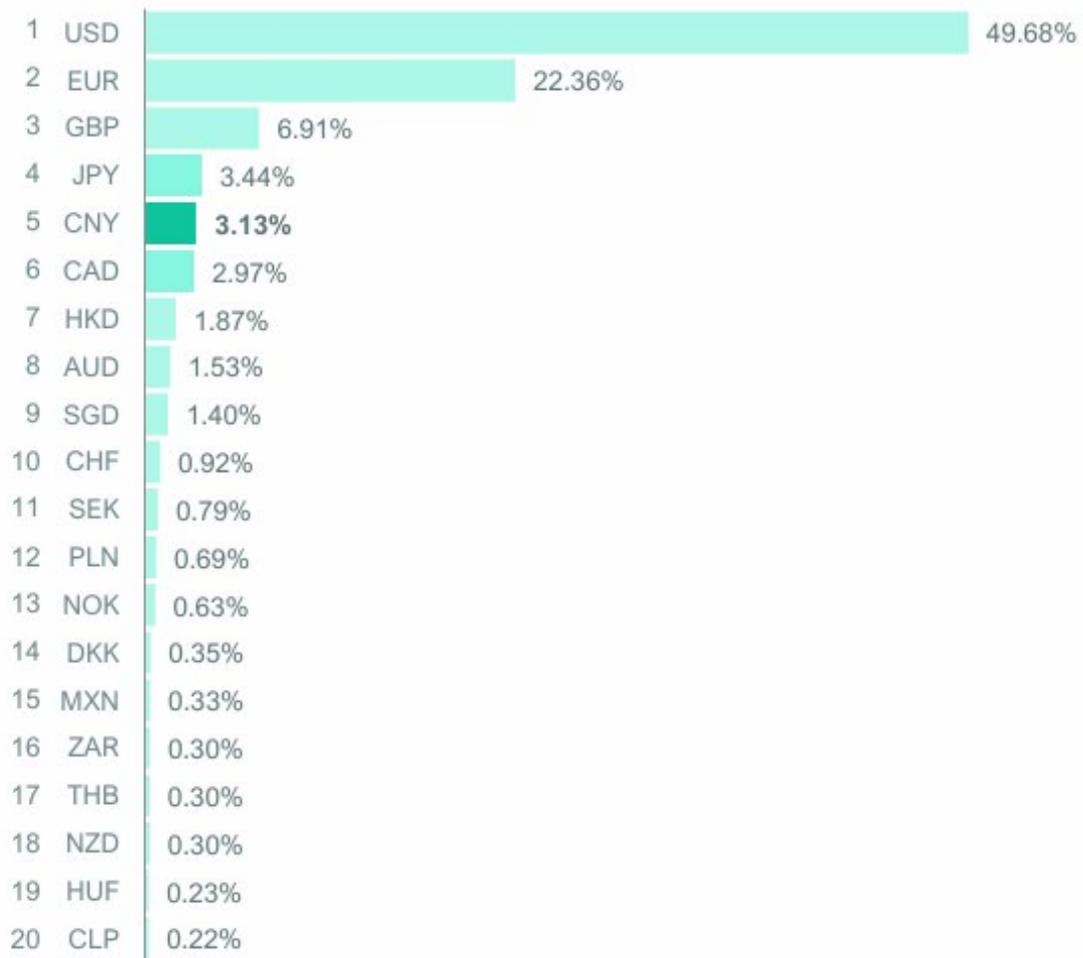
(出所) BIS, UNCTAD

- SWIFT：2023年11月に円を抜き、以降国際支払い通貨として4位になった後2024年9月、10月の5位を除いて2025年3月まで4位を維持、その後4月5位、5月6位に後退。2026年1月は5位に復帰し3.13%（ドル49.68%、ユーロ22.36%、英ポンド6.91%、円3.44%カナダドル2.97%、）。

7. SWIFT:人民币送金

RMB's share as a global payment's currency

January 2026



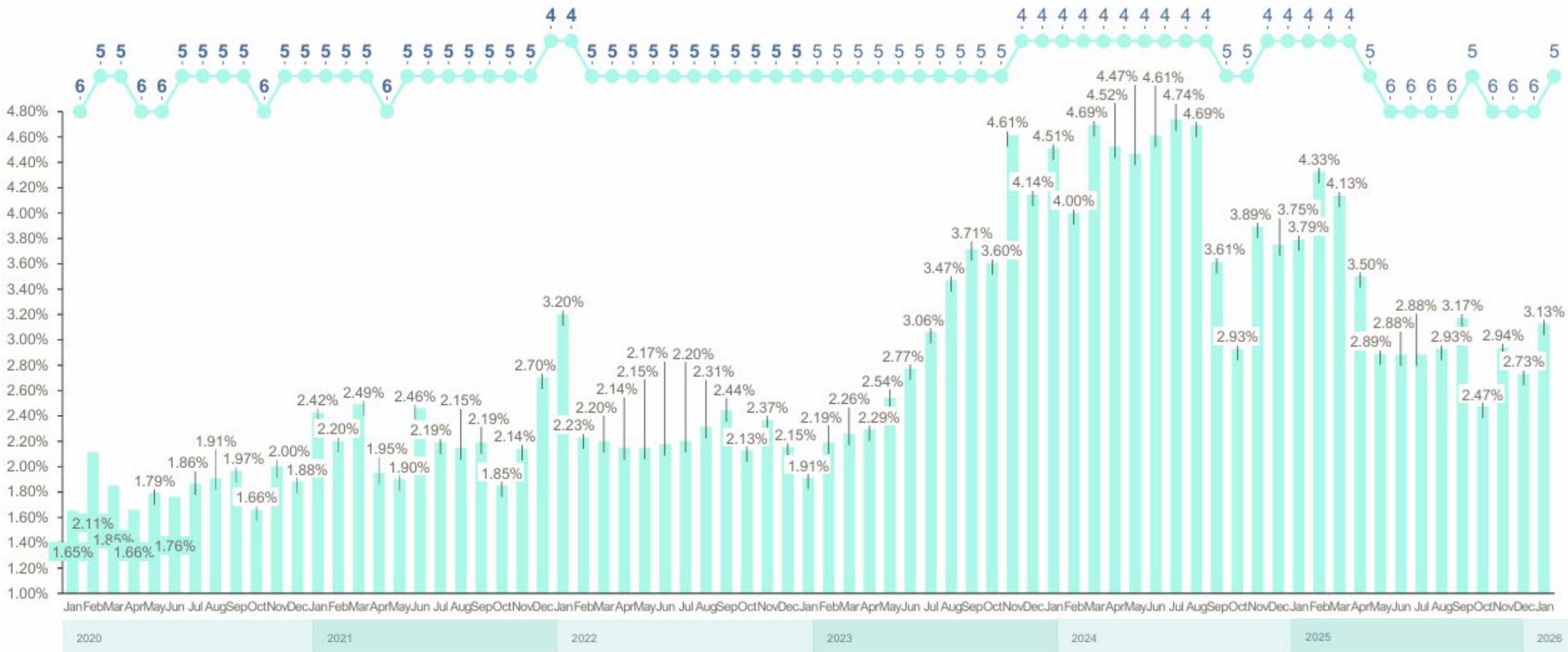
(出所) "RMB Tracker" SWIFT, January 2026

8. SWIFT：人民币送金順位

Evolution of RMB's share as a global payment's currency

Live and delivered, MT 103, MT 202 (Customer initiated and institutional payments), and ISO equivalent Messages exchanged on Swift. Based on value.

● RMB Ranking
■ RMB Share



(出所) "RMB Tracker" SWIFT, January 2026

9. 金融制裁

- 銀行を通じた送金決済を制限する方法

- ① 特定の銀行をSWIFTから排除し、多様な通貨について他国の銀行との間の情報伝達を困難にすること。

SWIFT: Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication

- ② 国内の銀行に対して、特定の海外の銀行や企業、個人などにその国の通貨の口座を利用した送金を禁じること。

- 対ロシア金融制裁

- ① ロシアの大手中堅銀行7行をSWIFTから排除（2022年3月2日）
- ② 米国政府はロシアの大手5行について米国内のコルレス口座を凍結（2022年2月24日）

10. 中国の相手国別輸出入の推移

ドル換算前年比

	2022年	2023年	2024年	2025年
合計	+4.4	-5.0	+3.8	+3.2
ロシア	+29.3	+26.3	+1.9	-6.9
インド	+8.4	+1.5	+1.7	+12.4
ブラジル	+4.9	+6.1	+3.5	-0.1
アフリカ合計	+11.1	+1.5	+4.8	+17.7
南アフリカ	+5.0	-1.2	-5.7	+2.2
ASEAN	+11.2	-4.9	+7.8	+7.4
ベトナム	+2.1	-0.5	+13.5	+13.7
マレーシア	+15.3	-5.2	+11.4	-9.6
タイ	+3.0	-5.0	+6.1	+14.4
シンガポール	+22.8	-2.6	+2.6	+7.5
インドネシア	+19.8	-5.9	+6.1	+13.4
日本	-3.7	-10.7	-3.0	+4.5
アメリカ	+0.6	-11.6	+3.7	-18.7
EU	+2.4	-7.1	+0.4	+5.4

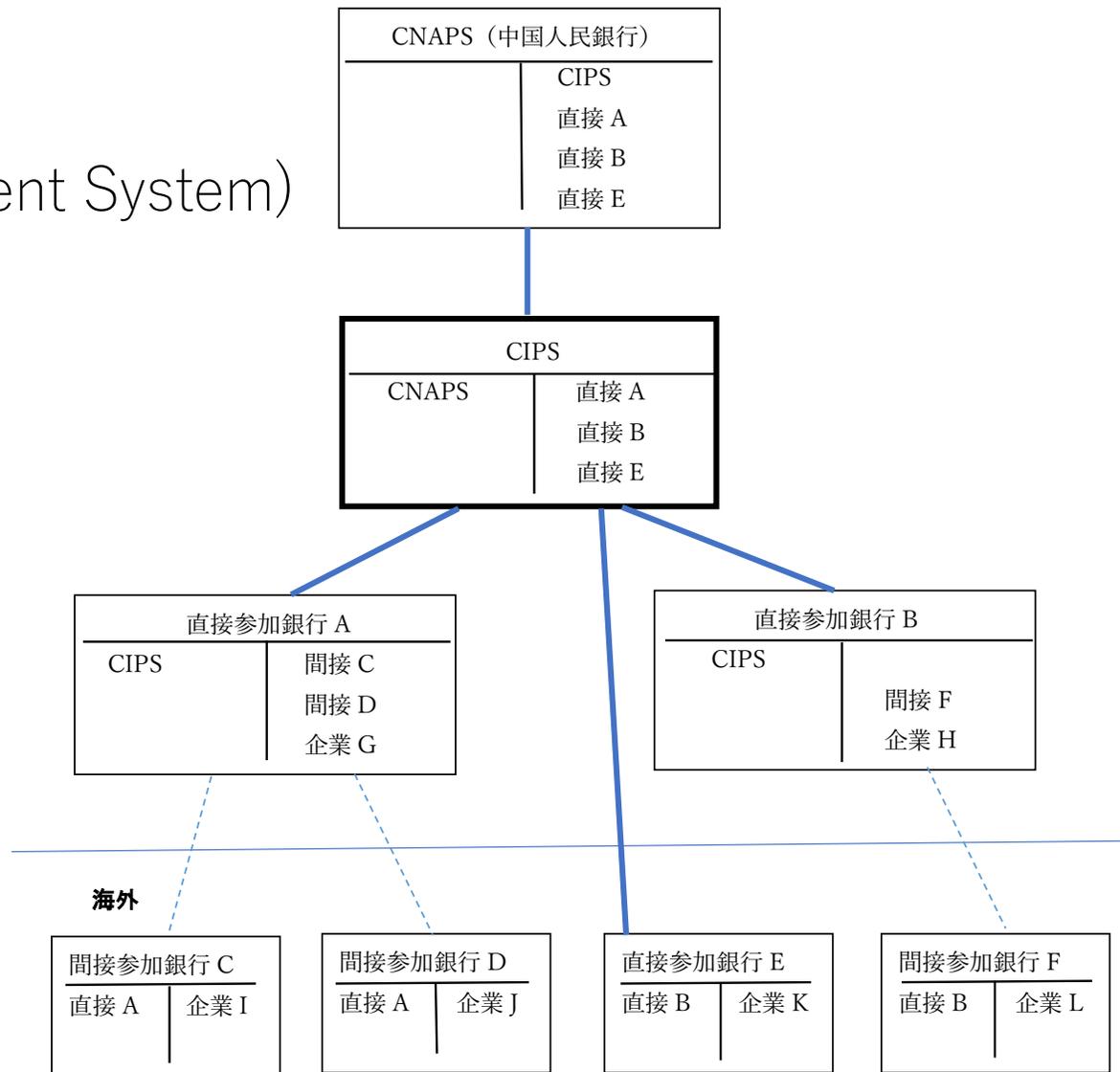
(出所) 中国海関総署

人民元クロスボーダー決済システム (CIPS) による決済額

2024年中 175兆4900億元、前年比42.6%増

2025年中 180兆1500億元、前年比2.6%増

11. CIPS (Cross-border Interbank Payment System)



間接参加銀行と直接参加銀行の間の情報伝達はSWIFT
海外直接参加銀行とCIPSの間の情報伝達は専用回線

— 専用回線
- - - SWIFT

12. 第三国間の人民元決済など

- ロイター通信（2022年6月29日）
 - インドのセメント最大手ウルトラテック・セメントが、ロシアの石炭大手SUEKから輸入した石炭代金を人民元で決済した。
 - 石炭15万7千トンを買1億7265万2900元（2581万ドル）で購入。
 - インドのHDFC銀行が信用状を発行。香港のHSBCから中国本土の光大銀行におけるSUEK口座に振り込まれた模様。
- ロイター通信（2023年7月3日）
 - インドの製油業者がロシア産原油の輸入決済に人民元の使用を開始。
- サウスチャイナモーニングポスト（2023年4月21日）
 - ロシアとバングラデッシュがロシアが製造する原子力発電所の支払いを人民元で行うことに合意。
- 2023年4月26日 アルゼンチンが中国からの輸入代金の決済をドルから人民元に変更すると発表

13. 人民元国際化は転機を迎えたか？

- 中国の対外取引の受払を米ドルに過度に依存していた状況から脱却させるという意味での人民元国際化から、「国際的に広範に使用される通貨」という意味での人民元の国際化を進める方針に転換している可能性？

- 「2023年人民元国際化報告」 2023年10月27日公表

第2章人民元国際使用状況

1. 人民元のクロスボーダー利用の総体的状況

2022年、人民元のクロスボーダー受払額合計は42.1兆元、前年比15.1%増加、・・・。SWIFTのデータでは、人民元が国際支払いに占める比率は2023年9月に3.71%、第5位を保持した。（2024年9月30日公表の2024年版でも同様の書き方、第4位に）。經常取引については22年20.7%、24年1～8月29.3%。

- 「通貨の国際化指数」 2023年人民元国際化報告 2023年10月27日 （2024年版では消滅）

	2021年末	2022年3月末	2022年末	2023年3月末
米ドル	58.13	58.13	58.30	57.68
ユーロ	21.81	21.56	22.18	22.27
英ポンド	8.77	8.87	7.73	7.66
円	4.93	4.96	5.24	5.48
人民元	2.80	2.86	3.16	3.26

- 「2025年人民元国際化報告」 2025年10月30日公表

人民元はクロスボーダー取引においてより広範に利用され、国際地位とグローバルな影響力はさらに一步向上した。經常取引の人民元比率は2024年29.8%、2025年1-6月30.6%。世界第2位の貿易金融通貨。

14. 人民元国際化指数

指標	利用統計	出所
支払い通貨	国際支払い通貨額	SWIFT
投資通貨	国際銀行業対外負債額	BIS、国家外貨管理局
	外国為替市場取引額	BIS
	外国為替市場スポット取引使用額	SWIFT
	金利デリバティブ市場取引額	BIS
調達通貨	国際貿易融資通貨金額	SWIFT
	国際銀行業対外債権	BIS、国家外貨管理局
	国際債券発行シェア	BIS
準備通貨	外貨準備通貨別構成	IMF

(出所) 中国人民銀行「人民元国際化報告」

15. 人民元国際化と国際通貨体制

- 人民銀行潘功勝総裁の2025年6月18日の講演（於上海陸家嘴フォーラム）
 1. ドルが基軸通貨であることには不安定性が存在する。
 - ①通貨発行国の利益と国際公共財としての性質が矛盾する。
 - ②通貨発行国のマクロ経済運営に問題が生じると世界に影響を及ぼす。
 - ③地政学的ショックが生じた際、容易に利用でき、武器と化す。
 - 対応は2つの方向
 - ①ユーロや人民元が基軸通貨としての役割と責任を分担する。
 - ②超主権通貨、例えばSDRを基軸通貨として利用する。
 2. 伝統的なクロスボーダー決済システム（SWIFTとコルレス銀行）の問題が明らかになってきた。
 - ①非効率で高コストである。
 - ②異なる法と監督枠組みの間の調整が必要。
 - ③地政学的問題の下では容易に政治化・武器化され一方的な政策の道具となり国際経済金融秩序を破壊する。
 - 新しい動きがみられる。
 - ①利用通貨の多様化。中国ではCIPSを開発した。
 - ②決済システムの相互連結性の向上。アジアではQRコード決済の連携が広がっている。
 - ③ブロックチェーンや分散台帳などの新技術が広がり、中央銀行デジタル通貨の発展を促進している。
 3. 上海に「デジタル人民元国際運営センター」を設立する。

16. CBDCによるクロスボーダー決済：mBridge project

- 2021年2月 中国、香港、タイ、UAE、BIS（国際決済銀行）がmBridge検討開始。
- 国際取引についてのホールセールレベルのクロスボーダー決済の共通プラットフォーム。公共財として世界中の中央銀行と商業銀行を接続する可能性を有する。分散台帳技術（DLT）を使用。
- プロジェクトの目的
 - ① クロスボーダー決済の課題（高コスト、決済リスク、低速度）を解決すること。
 - ② 中央銀行マネーによるクロスボーダー決済を促進すること。
 - ③ クロスボーダー取引における地域通貨の利用を支援すること。
 - ④ 新しく革新的な決済サービスの機会を創出すること。
- 以上を各国の通貨主権と金融政策・銀行システムの安定を維持して進める。
- コンプライアンスの順守（AML/CFTなど）、無害（為替レートコントロールや資本規制を害さない）、相互接続性の原則に基づく。

17. mBridgeにおける地域通貨間の直接取引

- 外国為替取引手法

- ① リクエストフォークォート (RFQ)

- ② Off-Bridge取引

- ③ Board Rate

PvPを提供

- 既に31のオブザーバーが参加（2024年10月時点）。

中央銀行（イタリア、チリ、フィリピン、インドネシア、マレーシア、イスラエル、韓国、ナミビア、フランス、バーレーン、エジプト、ヨルダン、ジョージア、ECB、カザフスタン、ネパール、ニューヨーク連銀、ノルウェー、オーストラリア、南アフリカ、ハンガリー、トルコ、モーリシャス、ブラジル、ルクセンブルグ、マカオ、カンボジア、インド）、IMF、世銀、AIIB

- 2024年6月5日 mBridgeはMVP(minimum viable product)段階に到達。

最低限の機能に関する実証実験により多くの中央銀行と商業銀行の参加が可能。

サウジアラビアがフルメンバー移行。

- 2024年10月：BISが撤退(公表はローキー)。5つのフルメンバーで継続。

- 2024年6月～2025年12月の間の累計取引金額は4778億元相当(約10兆円)、取引件数は4868件、取引金額の96%は人民元建て

(出所) BIS、人民日報

18. 今後の人民元国際化の展望

- 2025年10月20日～23日：四中全会「第15次5か年計画の建議」
 - 「人民元国際化を推進し、資本収支項目の開放水準を高め、自主的・コントロール可能（自主可控）な人民元クロスボーダー決済システムを構築する」
 - 「デジタル人民元を着実に発展させる」
 - 5年前の第14次5か年計画では「穏健・慎重に人民元国際化を推進する」
- 2025年10月30日：中国人民銀行『人民元国際化報告』
 - 第7章「今後の展望 五、自主的・コントロール可能な人民元クロスボーダー決済システムを建設する」
 - 「クロスボーダー人民元決済システム（CIPS）のネットワークがカバーする範囲を拡大し、より効率が高く、便利で高速な人民元決済サービスを提供することを支持する。高速決済システム（FPS）やQRコード決済のクロスボーダーの相互リンクを秩序よく進めて行く。（銀聯カードの国際展開を行う）銀聯国際の処理ネットワークのカバー範囲を拡大し、サービス能力を向上させる。中国を訪れる外国人に対する決済サービスを引き続き改善する。デジタル人民元のクロスボーダー決済における使用を研究し推進する。」
 - ⇒CIPSの専用回線、mBridgeの推進

謝 謝

ご清聴ありがとうございました